

図書館通信

最上校図書委員会 No.1 4月8日



祝ご入学おめでとう

1年生の皆さん ご入学おめでとう。ようこそ最上校へ。
2・3年生の皆さん ご進級おめでとう。
お昼休み、放課後は是非、図書館にお越し下さい。お待ちしております。

4月図書館企画

2022年 本屋大賞 決定!

全国書店員が選んだいちばん! 売りたい本 2022年本屋大賞
が4月6日、発表されました。今年もコロナウイルスの感染拡大の抑止に伴い、動画配信にて発表されました。



第1位『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬著

十七歳の時、水難事故で死んだはずのユウナは、当時の姿のまま、俺の目の前にいる。不思議なことだが、ユウナのお気に入りの線香花火を灯すと、俺にしか見えない彼女が姿を現すのだ。ユウナに会うため、伝えていない気持ちを抱えながら俺は何度も線香花火に火をつける。

第2位『赤と青のエスキース』 青山美智子著

1枚の「絵画（エスキース）」をめぐる、5つの愛の物語。彼らの想いが繋がる時、奇跡のような真実が現れる。

第3位『スモールワールズ』 一穂ミチ著

誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。



第4位『正欲』 朝井リョウ著

あってはならない感情なんて、この世にない。いてはいけない人間なんて、この世にないということだ。共感を呼ぶ傑作か?目を背けたくなる問題作か?

第5位『六人の嘘つきな大学生』 朝倉秋成著

ここにいる六人全員、とんでもないクズだった。新世代の青春ミステリ!

第6位『夜が明ける』 西加奈子著

思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡。まだ光は見えない。それでも僕たちは、夜明けを求めて歩き出す。どれだけ傷ついても、夜が深くて、必ず明日はやってくる



第7位『残月記』 小田雅久仁著

月をモチーフに、底知れぬ想像力が構築した異世界。足を踏み入れたら最後、イメージの渦に呑み込まれ、もう現実には戻れない

第8位『硝子の塔の殺人』 知念実希人著

雪深き森で輝くガラスの尖塔。この建築物で事件が起こる。



第9位『黒牢城』 米澤穂信著

本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の智将・黒田官兵衛に

謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何をむ。

第10位『星を掬う』 町田そのこ著

千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、娘に捨てられた彩子と、聖子を「母」と呼び慕う恵真。四人の共同生活は、思わぬ気づきと変化を迎える。

※ぜひ、図書館へ!



2022年 本屋大賞 「翻訳小説部門」決定!



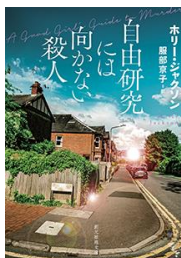
第1位 『ザリガニの鳴くところ』 ティーリア・オーエンズ著



1988年ソウルオリンピックの年に生まれ、三十歳になった非正規社員の、キム・ジヘ。88年生まれが一番多い名前「ジヘ」と名付けられた彼女はその名の通り、平凡を絵に描いたような大人になって、世の中にも会社にも期待することを諦めていた。大企業の正社員を目指すジヘの前へ現れたのは、一癖ある同じ年で同僚のギュオク。彼の提案する社会への小さな反撃を始めることになったジヘは、自信を見つめなおし、本当にしたかったことを考えるように。そして、ついに「本当の自分」としての一步を踏み出すことになる。すべての人に勇気をくれる共感必至の傑作!

第2位 『自由研究には向かない殺人』 ホリー・ジャクソン著

高校生のピップは自由研究で、自分の住む町で起きた17歳の少女の失踪事件を調べている。交際相手の少年が彼女を殺して、自殺したとされていた。その少年と親しかったピップは、彼が犯人だとは信じられず、無実を証明するために、自由研究を口実に関係者にインタビューする。だが、身近な人物が容疑者に浮かんできて?ひたむきな主人公の姿が胸を打つ、傑作謎解きミステリ!



第3位 『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ著

「この本の語り手クララは人間の形をしたAI搭載の機械です。10代の若者が大人になる手助けのために開発されたAF(Artificial Friends)、つまり「人工親友」です。物語の冒頭、クララは他のAFたちと店先に並び、買った人が外の世界へ連れ出してくれるのを楽しみにしています。その間、ウィンドー越しに街の様子を観察して、人間の世界をわかろうと努めます。そして孤独な人間たちに興味を持ち始めます。なぜなら人間の世界に入ったクララの大切な仕事は、「人の孤独」を癒すことなのです。

※ぜひ、図書館へ!!

4月23日・子ども読書の日

「読んで!読んで!いっぱい読んで!」

2022年・第64回こどもの読書週間

「ひとみキラキラ 本にドキドキ」

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めると



もに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、制定されました。子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、誕生した取り組みで、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えましょうという取り組みでもあります。ぜひ、この機会に本を読んでみましょう。



《図書館企画》年間計画のお知らせ!

月	企画内容	月	企画内容
4月	2022年本屋大賞特集	10月	第二回朝読書特集
	「子ども読書の日」・「こども読書週間」		文化祭特集
5月	第一回朝読書特集		第75回読書週間
6月	「学校図書館の日」6月11日	11月	2022年発表新刊特集
	読書・希望図書アンケート結果特集	12月	BOOK OF THE YEAR 2022 特集
7月	校内読書感想文コンクール		クリスマス特集
	コンクール課題図書特集	1月	第168回芥川賞・直木賞後期特集
	第167回芥川賞・直木賞前期特集	2月	多読賞発表・第三回朝読書特集
8月	蔵書点検		バレンタイン特集
9月	作家特集・横溝正史展	3月	蔵書点検

※今年度は以上のような企画を計画しました。また、取入れてほしい企画や意見がありましたら、いつでも図書館 学校司書高橋まで、気軽に声をかけてください。